

Plant and Cell Physiology 著者投稿ガイドライン

編集方針

1. 本誌は植物（および微生物）の生理学、生化学、生物物理学、化学、遺伝学、分子生物学、遺伝子工学、細胞生物学に関連する未発表論文の出版を専門とした国際誌である。日本植物生理学会員・非会員ともに投稿を歓迎する。
2. 投稿論文は、他誌で出版されておらず、新しく重要な研究結果であること。関連論文が他誌に出版予定、または投稿されている際は本誌投稿時に詳細を申告すること。
3. 二重投稿、盗用、図の不正操作などの不正行為が認められた場合には論文は即時却下される。出版後に不正が発覚した場合には採択を撤回し、論文取り下げ通知が掲載される。すでに出版された図表などを使用する際には、著者は著作権資料について転載許可を得たうえで論文内で出典を明記すること。
4. 論文カテゴリーは **Regular Paper**, **Rapid Paper**, **Short Communication**, **Mini Review**, **Review** の5種類である。

Regular Paper : 植物科学の進展に貢献する、新しく重要な研究結果をまとめた研究論文。

Rapid Paper : このカテゴリーは特に新規性が高く興味深い研究内容の論文を対象として、審査・掲載ともに迅速に進められる。このため、著者は投稿時には、投稿規定に基づき特に注意を払って論文を作成する必要がある。また、早期出版を要する科学的重要性を記述したカバーレター (justification) を必ず添付すること。

Short Communication (※2010年6月30日で新規投稿の受付を終了) : このカテゴリーは、本誌の読者にとって意義のある新しい情報を、短いけれども完成された論文として掲載することを意図している。例えば、新しい実験技術の紹介と具体例、バイオインフォマティクスに関する成果、あるいは植物の成長や機能に関する新しい知見の発表などが適している。**Short Communication** の原稿は印刷時5ページ以内とする。**Regular Paper**や**Rapid Paper**の予備結果や短縮版として発表されるものではない。

Mini Review / Review : 編集委員の招聘を前提とする。**Mini Review** は特定の分野の最近の傾向につき述べたもので印刷時5ページ以内、図表は2つまでとする。**Review** は関連分野をより広範囲な側面から論じた包括的な研究を対象とする。

3. **査読** 採択の主要基準はオリジナリティ、植物科学における重要性、実験デザインの妥当性、結果の信頼性である。単なる記述的内容、確認実験結果にすぎないものや、タンパク質の精

製、遺伝子クローニング、新変異体の分離、また機能面の議論のないマイクロアレイデータなどの報告は採択の対象とならない。これらの基準に満たない論文は査読なしに却下される場合がある。基準を満たした論文については、編集実行委員が専門分野における適正に応じて査読者を選定する。この査読者の氏名は著者には公開されない。論文投稿時に著者は、その論文を読んだことのない査読者候補を5名まで挙げるができるが、これらの候補者が査読者になることを確約するものではない。同時に、著者は除外したい査読候補者を2名まで挙げられる。通常、Rapid Paperで投稿後2週間以内、Regular Paper, Short Communication, Mini Reviewで投稿後1ヶ月以内に編集実行委員から査読結果がCorresponding Author宛に通知される。改訂論文を再投稿する際には、編集実行委員と査読者宛に、各査読コメントが改訂稿にどのように反映されたか、また反映されなかった場合はその理由を明確に記載し、編集実行委員の指定した期日までに投稿すること。期日を過ぎた投稿は新規投稿とみなされる。採択された論文ファイルは、採択後1週間以内にPCPのホームページ上で公開される(Publish Ahead of Print: PAP)。また、採択後平均50日でオンライン上において号としてまとめられ出版される。

4. 原稿は明確で簡潔な、文法的に正しい英語で書くこと。英語ネイティブ・スピーカーまたは英文論文執筆に豊富な経験のある研究者のチェックを受けることを推奨する。英語の表現が稚拙なために内容が理解できないような場合は、審査員に回すことなく、却下されることがある。原稿はManuscript Centralにオンライン投稿すること。(http://mc.manuscriptcentral.com/pcp).

原稿作成

[フォーマット]

1. 原稿はMicrosoft Wordで作成し以下の順に並べ、表と図の説明文を含めた全文にページ番号をつけること。

1ページ目

Running Title : スペースを含め50文字以内とする。

Corresponding Author : 住所、電話番号(内線含む)、ファックス番号、電子メールアドレス。

Subject Areas : 本論文に最も関連する分野を2つまで、以下から選択する。(1)成長・発生(growth and development)、(2)環境・ストレス応答(environmental and stress responses)、(3)遺伝子発現制御(regulation of gene expression)、(4)タンパク質・酵素・代謝(proteins, enzymes and metabolism)、(5)光合成・呼吸・生体エネルギー学(photosynthesis, respiration and bioenergetics)、(6)細胞構造・機能(structure and function of cells)、(7)生体膜・輸送(membrane and transport)、(8)細胞間相互作用(cell-cell interaction)、(9)天然物(natural products)、(10)ゲノミクス・システム生物学・進化(genomics, systems biology and evolution)、(11)新方法論(new methodology)

Number of black and white figures, color figures and tables : カラーで提出された図はカラー印刷される。この際カラー印刷料金は必要としない。

* Short Communication の著者は Abstract を含めた単語総数を記載すること。

2 ページ目

Title: 論文フルタイトル (各単語大文字で始める)。

Authors : 全著者のフルネーム、所属機関、住所。

Author's Addresses (著者所属) 複数の著者がそれぞれ異なる所属の場合は所属ごとに上付き数字を表示。

(例)

Taro Tanaka¹ and Jiro Yamamoto²

¹Department of Botany, Faculty of Science, PCP

University Shizuoka, Shizuoka 432-0001, Japan

²Environmental Engineering Laboratory, JSPP College

Kanayama, 234-0001, Japan

Abbreviations : 定義なしに利用できる略語を除き、アルファベット順に定義すること。

Introduction 以降の本文で短縮形を使用する際は、初出時に略さずに記載し、続けて略語を括弧内に表記する。定義なしで利用できる略語のリストは

http://www.oxfordjournals.org/pcp/for_authors/abbreviations.pdf を参照。

Footnotes : ヌクレオチド配列は以下のとおり登録情報を記載すること。(番号): The nucleotide sequence reported in this paper has been submitted to (データベース) under accession numbers. また、著者の住所が投稿時から変更した際は Present Address として現住所を記載すること。

3 ページ目

Abstract : Regular Paper と Rapid Paper は 250 語以内とし、Short Communication は 100 語以内とする。

Keywords : 6 語以内をアルファベット順に記載すること。植物の一般名称または学名、もしくはその両方を明記すること。

4 ページ目以降

本文—謝辞—リファレンス—表—図説—図の順に配置すること。

1. **Text (本文)** Regular Paper と Rapid Paper は以下の順で見出しをつけること。 **Introduction—Results—Discussion—Materials and Methods.** Short Communication は下の6項を参照のこと。

Materials and Methodsセクションでは、他の研究者が実験結果を再現し論文の主張を立証できるように実験方法を完全に記載すること。標準的な方法は参考文献を挙げる、著しい変化がある際はその内容を記述すること。また、正確なデータ解釈と主張の立証の助けとなるよう、必要に応じて実験計画法と統計的手法を適用・記述すること。また、その準備にあたっての新材料および新手法についても再現を可能にするため詳細を記載すること。（データの扱いに関する情報は下の7項も参照すること）

2. **References** 本文中の文献の引用は著者名と出版年を表記すること。著者が2名以上の場合は筆頭著者名の後にet al.とする。

(例)

Takahashi and Yamamoto (1986) reported that . . .

The results have been interpreted (Suzuki et al. 1996).

Referencesは筆頭著者苗字のアルファベット順に記載し、同著者または同じ著者グループの文献は年代順に記載する。同著者（または同じ著者グループ）が同じ年に出版している場合は出版年に'a', 'b'などを付記する。著者が6名を超える際は最初の6名を記載しそれ以降の著者はet al.とすること。**References**記載時はインデントを使用しない。各**Reference**ごとに一行あける。

(例)

Birch, B.P. (1995a) Growth responses of *Nicotiana tabacum* L. to light and water stress. *Plant Cell Physiol.* 36: 1–10.

Birch, B.P. (1995b) Organic acid metabolism in light-grown radish (*Raphanus sativus* L.). *Plant Cell Physiol.* 36: 101–110.

Cherry, P.Y., Juniper, R. and Aoki, J. (1994) Kinetic studies of photosynthetic activity in *Chlorella*. In *Mechanism of Photosynthesis*. Edited by Yanagi, M. and Liu, Y. pp. 123–234. Science Press, Tokyo.

Cherry, P.Y. and Oaks, B.B. (1997) Translocation of photosynthetic products. *Annu. Rev. Plant Sci.* 130: 15–60.

Holly, M.C. (1987) *Plant Biophysics*. p. 102. Botany Press, Kyoto.

未出版のデータや私信は引用文献とはせずに本文中に括弧内で注記すること。出版の決定した「**In press**（出版予定）」論文は**References**に記載可能である。掲載される誌名と、日付が決定していればそれも記載すること

3. **Tables (表)** 本誌近刊と一致した形式で作成し、アラビア数字で連番をふること。注釈は表の脚注に記載し、各表は別ページに作成すること。（注：採択時に編集するため表は画像ではなく.doc, .rtf, xlsいずれかのデータファイルで作成すること。）カラーや特殊記号を使用した表は**Figure** (図) として提出すること。**Figure**扱いの表は採択時に編集されないため、通常の表と体裁を揃えられるようゴシック系のフォントを使用すること。

4. **Figures (図)** 未発表の図であること。印刷時の無駄な空白を防ぐために、適切な大きさおよび配置にすること。線画は白黒ハイコントラストでクリアであること。ファイル形式はTIFFを推奨する。図は以下の解像度で作成すること。

線画： 1200dpi以上

写真： 300dpi以上

シングルカラムの図は85 mm幅以下、ダブルカラムの図は170 mm幅以下とする。2 mm以上の数字、文字、記号を使用すること。これらの規格に満たない場合には図の修正が必要となり、出版の遅延につながる可能性がある。以下のサイトにて図作成に関する便利な情報を公開しているので参考にすること。<http://cpc.cadmus.com/da/index.jsp>。本誌ではカラー印刷費用は無料であり、カラー図の投稿を奨励している。カラー図は出版時に原図の色味を再現できるようCMYKモードで提出すること。

5. **Supplemental Data** 本誌ではビデオ、3D構造/イメージ、配列アライメント、マイクロアレイデータ等の大量のデータのオンライン公開を推奨している。これらのデータは通常原稿と同様に査読対象となる。ファイルは4項を参照に作成し、ビデオはQuickTime Video (mov), MPEG Movie (mpg) または Microsoft AVI Video (avi) 形式とする。各ファイルの容量は5 MB以下とし、論文本文とは別のファイルで作成すること。Supplementary dataは採択後の制作過程で一切の編集をしないため、明瞭かつ簡潔に、使用する用語の形式を本文と揃えた最終形式で提出すること。

6. **Short Communications** introduction, results, discussionを分けずにまとめ、最後に,materials and methodsの順で構成する。見出しはMaterials and Methodsのみ挿入する。Short CommunicationはReference、図表を含め印刷時に5ページ以下とする。Abstractは前述のとおり100語以内、Referencesは30文献以下とする。Referenceを含め3,000語以内に収め、図表は4つ（図または表が1/4ページ以下の場合）までとする。タイトルページにAbstractを含む総単語数を記載すること。これらの基準に満たない論文は査読なしに却下される。出版時に5ページを超えた場合は超過1ページあたり20,000円の超過ページチャージが発生する。

7. **データバンク登録** 論文中の配列情報やX線結晶学的配位 (X-ray crystallographic coordinates) は、論文の出版前に適切なデータベースに電子形式で提出し公開する。データベースへの登録および登録番号は論文投稿時にカバーレターに記載すること。マイクロアレイデータはGEO, ArrayExpress and CIBEXなどの公共のデータバンクに登録すること。主要材料の登録も推奨する。

8. **フォント** Times New Romanを使用すること。特殊文字挿入時にこれ以外のフォントを使用すると、PDFファイルで異なる文字に変換されることがあるため注意すること。その一例として、“Symbol”や明朝フォントでの“ μ ”は他の文字に誤変換されるケースがある。

9. **Funding (助成金)** 研究助成をうけた資金源の詳細は“Acknowledgments” セクションの前に別途セクションを設け “Funding”の見出しをつけて記載すること。記載にあたっては以下に従うこと：公式な資金提供機関の正式名称を記載すること（例‘JSPS’ではなく‘Japan Society of the Promotion of Science’）；助成金番号は括弧内に表記し、複数の場合カンマで仕切ること；資金提

供機関はセミコロンで仕切ること；‘Funding for this work was provided by...’等の文言は追加しないこと；資金提供先の個人を特定する必要がある場合は、提供機関または助成金番号の後に”to [著者のイニシャル]”を追加すること。※記載例 ‘This work was supported by Japan Society of the Promotion of Science (No. 1985361 to C.S., No. 3658169 to M.H.); the xxx Foundation (hfygr667789).’

10. **表紙写真** 本誌は各号の表紙に適した写真やイラストを随時募集している。応募者は論文投稿時に高品質の写真データを編集長宛に送付すること。写真は論文の内容に関連するものとする。採用の際はカラー表紙付きの別刷り50部と、出版号の表紙データを贈呈する。

11. **Authorship** 著者 (Corresponding Author) は全共著者が投稿を了承していること、また、著者名の記載順に関して合意が得られていることをオンライン投稿ページの規定箇所に明記すること。

12. **Conflict of Interest (利害の抵触)** オンライン投稿時には必ず、著者 (Corresponding Author) が他の共著者も含め利害の抵触の有無を確認し、詳細を申告する手順となっている。他の共著者についてこの情報を確認できない場合は、該当著者は既定の Conflict of Interest 申請用紙に記入して編集室に送付すること。利害の抵触とは直接・間接に関わらず金銭上の利害関係や、その他研究内容・結論・含意・見解にバイアスがかかるという疑念につながる可能性がある場合を指し、著者はその状況を明示する必要がある。著者個人または関連部門や組織向けの、商業的あるいは他の資金源・個人的関係・学問的競争関係がこれらの範疇に入る。Corresponding Author は全共著者がこの方針に従うよう責任を持つこと。

[ファイル作成]

下記手順に従い原稿を作成すること。

- 1) [フォーマット]項に従い本文をMicrosoft Wordで作成する
- 2) [フォーマット]項に従い表をDOC, RTF or XLSで作成する
- 3) [フォーマット]項に従い図をTIFF形式で作成する
- 4) ファイルをウェブ投稿する(<http://mc.manuscriptcentral.com/pcp>)

ファイル名は簡潔なものにし、特殊文字やスペースは避ける。マッキントッシュ使用の際はファイル名の最後に3文字の拡張子を追加すること (.doc, .rtf, .jpg, .tif, .xls, .pdfなど)。

※投稿ファイルはシステム上でPDFに自動変換される。特殊文字や記号の誤変換を防ぐため、MS Wordファイルを保存する際に以下の手順でフォントの埋め込みをすると良い。

- I. ファイルを開いた状態で上部のメニューバー「ツール」を選択する
- II. 「オプション」をクリックする
- III. 新たに開いたウィンドウで「保存」タブを選択する
- IV. 「True Typeフォントを埋め込む」をチェック (その下の2つのサブオプションはチェックしない)

V. [OK] をクリックする

[改訂稿と再投稿原稿の作成]

1. 査読結果通知メール上の査読者のコメントに従い論文を修正する。編集委員と査読者が変更を認識できるよう修正箇所は赤で表示する。
2. 査読者のコメントにポイントごとに回答したカバーレターを作成する。
3. [ファイル作成]に従いファイルを作成する。カバーレターと本文は別ファイルに分ける。

論文採択後の手続き

1. **校正** 採択後、通常2週間程度で著者校正のPDFファイルが制作担当者から著者にメール送信される。著者はこれを責任を持って確認し、タイプミス等を修正する。原稿の大幅な変更は避け、変更が必要な際は編集長に申し出る。修正に関わる費用は著者負担となる。
2. **別刷り** 各論文50部の別刷りを無料贈呈。追加分は著者負担となる。別刷り申込書は日本植物生理学会より送信される。

著者費用

1. **カラー印刷費用** カラー図の印刷費用の著者負担はなく、投稿されたカラー図は全て無料で印刷される。
2. **ページ費用** 8ページまでは無料。9ページを超す論文は9ページ目以降1ページごとに20,000円の追加費用が請求される。
3. **Short Communicationのページ費用** Short Communicationが5ページを超えた場合は超過1ページあたり20,000円の追加費用が請求される。
3. **掲載料** 論文掲載料として採択論文1編につき学会員には10,000円、非会員には20,000円の掲載料が請求される。（※51巻8号掲載論文より掲載料は学会員20,000円、非会員30,000円に改定）

本誌ではオプションでオープンアクセス（Oxford Open）を選択することが可能である。詳細はオンライン版投稿規程（http://www.oxfordjournals.org/our_journals/pcp/for_authors/general.html）を参照のこと。

投稿に関する問い合わせ先：

編集室担当：佐藤東子

〒108-8386

東京都港区芝4-5-10-8F

オックスフォード大学出版局内

Tel: 03-5444-5858

Fax: 03-3454-2929

Email: pcp.editorialoffice@oxfordjournals.org

採択後の論文に関する問い合わせ先：

Ms. Helle Abelvik-Lawson

Oxford Journals

Oxford University Press

Great Clarendon Street

Oxford OX2 6DP

UK

Tel: +44 (0)1865 353784

Fax: +44 (0)1865 353773

Email: pcp@oxfordjournals.org